

第 2 号様式

随意契約の内容の公表

担 当 部 課	企画部情報政策課	
契約締結年月日	令和 8 年 1 月 9 日	
事 業 名	住民情報システム運用業務	
業 務 の 概 要	住民情報システム運用、情報系システム運用支援、AWS 運用サポート支援	
契約金額 (税込)	5, 5 8 3, 1 6 0 円 ※ 単価契約に当たっては、契約金額に予定数量を乗じて得た予定金額も記入すること。	
契約の相手方	株式会社日立システムズ中部支社	
根 拠 規 定	地方自治法施行令第 1 6 7 条の 2 第 1 項 <small>(該当する□欄に印をつけること)</small>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 第 2 号	その性質又は目的が競争入札に適さないものをするとき。
	<input type="checkbox"/> 第 3 号	障害者支援施設等により製作された物品の買入れ、役務の提供を受ける契約をするとき。
	<input type="checkbox"/> 第 5 号	緊急の必要により競争入札に付することができないとき。
	<input type="checkbox"/> 第 6 号	競争入札に付することが不利と認められるとき。
	<input type="checkbox"/> 第 7 号	時価に比して著しく有利な価格で契約を締結することができる見込みのあるとき。
	<input type="checkbox"/> 第 8 号	競争入札に付し入札者がいないとき、又は再度の入札に付し落札者がいないとき。
	<input type="checkbox"/> 第 9 号	落札者が契約を締結しないとき。
随意契約理由の説明 及び 契約相手方の選定理由	<p>株式会社日立システムズ中部支社は、現在利用している住民情報システム（ADWORLD）の構築及び運用を行っており、連携する他の業務システム等についても熟知している。また、本市のマイナンバー利用事務系ネットワークの構築、運用も行っていることから、株式会社日立システムズ中部支社以外の者に履行させた場合、住民情報システムの運用に著しい支障が生じるおそれがある。これらのことから、他者から見積書を徴収することが適さないため、株式会社日立システムズ中部支社一者からの見積りとし、地方自治法施行令第 1 6 7 条の 2 第 1 項第 2 号による随意契約とするものである。</p>	

※ 契約内容についてのお問い合わせ先は、企画部情報政策課です。